

日本保険学会平成25年度第4回理事会議事録

●日時：平成26年3月7日（金）、17：00～18：20

●場所：損保会館会議室

1. 審議事項

(1) 入退会者

江澤理事長より個人会員の入会者13名、退会者15名の説明があり 異議なく了承された。あわせて、理事長より以下の補足説明ならびに依頼があった。

平成25年度通算では、入会者65名に対し、本日までの退会者は47名であり、昨年に引き続き入会者は増えている。(昨年度は入会者61名に対し、退会者51名)

会費収入は当学会のほぼ唯一の収入源であることから、引き続き新規会員の勧誘をお願いしたい。また、賛助会員候補があれば、ぜひご相談願いたい。

(2) 賛助会員

理事長より 中小企業災害補償共済福祉財団（略称：あんしん財団）を賛助会員とすることにつき提案があり、異議なく了承した。年会費は5万円である。

あわせて、理事長よりあんしん財団を含め、来年度の賛助会員数は18団体、賛助金は、総額720万円となる予定であることが、報告された。

(3) 大会企画委員会関連

堀田大会企画委員長および安井大会実行委員長より、本日開催された大会企画委員会について、以下のとおり報告があった(敬称略)。

(A) 来年度大会（香川大学）

- ・来年度については、記念講演は実施しない。初日午前中は、韓国保険学会の招待報告を行い、その後、総会を行なう。初日午後はシンポジウムを実施。夜は恒例の懇親会を実施。なお、韓国保険学会招待報告の時間は昨年と同じく40分とし、質疑応答も受け付けることとする。
- ・2日目は、午前中は自由論題、午後は、共通論題を実施する。
- ・シンポジウムのテーマならびにパネラーは、次のとおり。

テーマ：「IT技術の進歩と保険事業の展開」

司会：岡田 太（日本大学）

基調講演：尾籠 裕之（業務プロセス研究所）

報告者：宇野 直樹（東京海上日動システムズ）、中林 真理子（明治大学）
肥塚 肇雄（香川大学）、未定（日本生命）

各報告者の論題は未定である。なお、シンポジウムの初回打合せを本日実施した。

- ・共通論題のテーマならびにパネラーは次のとおり。

テーマ：「保険業規制と国際的調和」

司会 : 井口 富夫 (龍谷大学)

報告者 : 上野 雄史 (静岡県立大学)、諏澤 吉彦 (京都産業大学)

溝渕 彰 (香川大学)、 未定 (損保実務家)

各報告者の論題は未定である。

- ・自由論題については、下記のとおり、経済・商学系で4名、法律系で4名の合計8名のエントリーが決まった。来年度も本年度同様、2セッションのみで実施する。

但し、各セッションの報告者が4名と例年より多いので、開始時間を9時とし、報告時間は、「1報告につき40分」と昨年より5分短縮する。

●大会／第Iセッション (経済・経営・商学系)

座長 未定

- ① 生命保険産業における残余市場創設の可能性について

報告者 : チェ・ファンソク (早稲田大学大学院)

- ② 保険代理店経営の現状と課題 (仮題)

報告者 : 早川 淑人 (札幌学院大学)

- ③ 【論題未定】

報告者 : 田中 隆 (兵庫県立大学)

- ④ 日本生命の戦後の相互会社化—藤本談話のオーラルヒストリー分析を中心に

報告者 黒木 達雄 (名古屋商科大学)

●大会／第IIセッション (法律系)

座長 未定

- ① 【論題未定】

報告者 : 横田 尚昌 (東北学院大学)

- ② 傷害保険における運行起因性

報告者 : 大井 暁 (弁護士)

- ③ 保険会社が営む業務等の外部委託について

報告者 : 浅井 弘章 (弁護士)

- ⑤ 重大事由解除と保険給付

報告者 : 天野 康弘 (弁護士)

なお、それぞれの座長については、4月開催の関西部会幹事会にて決定する。

(B) 日本保険学会創立75周年記念大会 (慶応義塾大学)

大会実施時期は、平成27年10月24日、25日の両日を予定している。

大会メインテーマとしては、「グローバル化と保険業」をご提案する。

一段と進展するグローバル化の中で、世界の中の日本保険業を見据えたときに、日本保険業を取り巻く現状と方向性ならびに役割について考えることとしたい。

また、基調講演として、池尾和人慶応義塾大学経済学部教授に「グローバル化時代の金融保険業の課題」（仮）と題して、お話しいただく予定である。その他、記念事業として「福澤諭吉と日本の保険業」と題し、大学図書館が所蔵する福澤関連の貴重図書を図書館内の特設会場に展示することを計画している。

なお、以下のメンバーをもって 大会実行委員会を設置することとした。

堀田理事（委員長）、 村田理事、岡村評議員、
宮地評議員、塔林図雅会員（大阪樟蔭女子大学）

以上の報告内容ならびに提案につき、承認した。

（４）企画委員会報告

理事長より、同日開催された企画委員会について、以下のとおり、報告および提案があった。

① AIDA新理事候補者

現AIDA理事の大谷孝一先生（早稲田大学）は、定年のため、今年９月のAIDA世界大会において退任されることになっている。後任理事候補者につき、企画委員会にて審議した結果、海上、航空保険を中心とした多彩な業績をあげておられ、海外の学会での御報告の経験も豊富な羽原理事を推薦することとした。

なお、羽原理事は第12回AIDA世界大会(ブエノスアイレス)で保険学会代表として、報告された経験もお持ちである。

ついては、この決定を追認いただきたい。

以上の報告内容ならびに提案につき、異議なく承認した。

② 学会創立75周年事業

平成27年度の学会創立75周年については、(i) 記念論文集の刊行、(ii) 学会75年略史の編纂、(iii) 記念シンポジウムの実施を記念事業の三本柱としている。

このうち、(i)については、中浜編集委員会委員長より、「保険学雑誌」12月号を特別号として発刊することが提案されている、との報告があった

（５）国際交流関連

中林国際交流委員会委員長より 来年度の国際交流関係の計画ならびに、必要な予算につき、以下のとおり報告ならびに提案があった。

① 韓国保険学会

同学会は、今年創立50周年を迎えるため、(i) ５月に50周年記念大会、(ii) ８月に保険金詐欺についての日韓共同シンポジウムの開催を予定している。

先方より、(i)については、江澤理事長ならびに松下事務局長を招待したいとのことである。また(ii)については、福田理事と大倉評議員に報告をお願いすることとしたい。このため、韓国への派遣費予算を50万円としたい。（本年度実績は32万円）

② AIDA大会

AIDA世界大会は、4年に1回開催されるが、今年が開催年にあたり、9月にローマで開催される。この大会とそれに先立って5月にアテネで行われる理事会に現AIDA理事と新理事候補者の2名がそれぞれ出席する必要があると考えるので、これらにかかわる派遣費予算を140万円としたい。(本年度実績はゼロ)

③ APRIAモスクワ大会

APRIAの今年度大会はモスクワで行われ、通常より出張費がかかることから、柳瀬BOGの派遣費を30万円としたい。

なお、今年度のNY大会には、BOG交代のため、2名が出席し、費消実績は30万円であった。但し、日本経済学会連合から、補助金25万円を獲得している。

その他、APRIA、AIDAの年会費などの経常費をあわせ、来年度予算額を、通常年の2倍以上とはなるが、総額267万円としたい。

なお、本年度の国際交流費支出見込みは、106万円である。

本報告および提案につき、派遣者、予算案を含め、了承した。

(6) 共同報告案件

理事長より、前回の理事会での論議を受けて、学会としての共同報告の形式を決定し、これを学会ホームページで告知すること、ならびに今回の決定のきっかけとなった報告者に対しては、理事長名で通知することが提案され、これを承認した。

(7) 平成26年度事業計画(案)・予算(案)

平成26年度の事業計画(案)につき、事務局から説明があった。昨年同様、各委員会、部会、支部がそれぞれの計画を策定し、それを取りまとめたものである。

本件、異議なく承認された。

次いで、平成26年度予算案につき、事務局から説明があった。この予算案には、上記のとおり、国際交流費として、267万円を計上している。

予算案についても、異議なく承認された。

2. 報告事項

(1) 委員会等報告

・保険学雑誌編集委員会

中浜委員長より、大会・部会報告の保険学雑誌への掲載状況、ならびに保険学雑誌624号の内容につき、報告があった。

・ホームページ委員会

村田委員長より、3月4日から、学会のホームページのリニューアルを行ったこと、また今後、希望する会員には、ホームページの新着情報を自動的に送信するシステムを導入したことが報告された。

・部会、支部報告

堀田関東部会部会長、井口関西部会部会長、石田九州部会役員より、それぞれ活動状況の報告があった。3月8日に実施予定の九州部会は、部会昇格後、初めての例会であり、多くの参加者を予定している、とのことである。